



フードマイレージ買物ゲーム 出張授業のご案内

買物でできる「エコ」あります

はじめに

私たち(社)白河青年会議所では、環境保全を目的とした「フードマイレージ買物ゲーム」の出張授業を行っております。

「フードマイレージ」とは様々な食材がお店や家庭に運ばれてくるまでの距離のこと。この概念を多くの人に知ってもらうため、(財)福島県地球温暖化防止活動推進センターと共同でゲーム形式の環境学習ツールを作成しました。一昨年より活動を開始し、現在まで近隣の小学校を中心に10回以上の出張授業を開催しました。

普段の食生活が地球環境にどの程度影響を与えているのか?という一見不可視的な疑問を解明する手法として、ゲームでは普段の夕食を対象にした食材の買物と料理を疑似体験することから始め、選んだ食材によって違うフードマイレージをCO₂排出量に換算して明示します。

ゲームを体験した一人一人が、買物という日常的な行動からの環境負荷低減、また環境的視点に起った地産地消の効果に気付いてもらうことを願っています。

学校での授業の一環として、各種団体における環境関連講習会等事業の一環として、ゲームを楽しみながら解り易く「フードマイレージ」について学んでみませんか?



ゲームの流れ

通常①～③までが前半45分、④～⑥までが後半45分、合計90分

①講師によるゲームの説明の後、グループ毎に献立を考え、食材の模擬買物に行きます。



買物は食材カード(写真参照)を選びます。



②買った食材を使って、模擬料理をします。ここでの料理は絵を描いてもらうことです。



③グループ毎に作った料理を発表します。



④講師によるフードマイレージの説明の後、食材カードの裏に隠されていたフードマイレージ(★印)の数を合計して発表します。(★印1つ=CO₂・20グラム)



⑤講師による食料自給率の変化、道路交通網の変化などの説明をまじえながら、買物に係る環境負荷についての理解を深めます。



⑥これからできること、行動目標を記入してもらい、ゲームを終了します



ゲームの開催にあたって



★受講資格

小学校5年生以上ならどなたでも受講できます。

★料金

無料で開催いたしますが、開催地までの距離によっては交通費のみいただく場合がございます。ご相談ください。

★開催可能人数

小学校・中学校の場合最低1名から、その他各種団体は4名から、最大は64名までとさせていただきます。

★開催期間

2010年3月5日～11月30日までとさせていただきます。
但し、この期間以外でも開催が可能な場合もございますので、希望される方はご相談ください。

★開催場所

小学校・中学校の場合は教室を使用させていただきます。その他の各種団体は公共施設の会議室・研修室等を確保ください。

★参加申込み方法

申込み用紙を当青年会議所のホームページ(<http://jc166.jp>)より、ダウンロードし、FAXにてお申込みください。
なお、準備の関係上、なるべく実施希望日の1ヶ月前までにお申込みいただけるようご協力をお願いいたします。

★お問い合わせ・お申込み先

社団法人 白河青年会議所 事務局
〒961-0908 福島県白河市大手町4-2 白河JC会館
TEL 0248-22-8289 FAX 0248-23-5966
(土・日・祝祭日除く10:00～16:00)
E-mail: jcinfo@jc166.jp
ホームページ: <http://jc166.jp>



よくあるご質問、Q & A



Q1: 各食材のフードマイレージやCO₂排出量等のデータは正確なものなのでしょうか？

A1: はい。大阪府にある「あおぞら財団」(フードマイレージ買物ゲームの発案団体)に福島県の市場年報、白河地域で販売されている食材等の資料を送り、輸送距離、輸送方法を調べてもらった上で3ヶ月程かけてデータを算出していただいております、かなり正確なものになっています。

Q2: 青年会議所のメンバーの方が講師をするのですか？

A2: はい。但し、メインの講師を務めることができるのは(財)福島県地球温暖化防止活動センター主催の講師養成講習を受け、さらに福島県より「地球温暖化防止活動推進員」としての活動を委嘱されているメンバーに限られております。その他のメンバーはゲーム進行のお手伝いとして参加させていただきます。

Q3: 90分というゲーム時間の短縮、もしくは延長はできますか？

A3: はい。10分程度の短縮、延長は可能です。また、前半部を1日目、後半部を2日目というように、2回に分けて開催することも可能です。詳しくはご相談ください。

Q4: 内容は児童向けなのですか？

A4: いいえ、現在まで当青年会議所では小学校5～6年生を対象に実施していたというだけで、元々児童・生徒向けに作られているわけではありません。大人から子供まで楽しく学べるツールとなっております。

Q5: 学校で、理科の授業時間を充てたいのですが、科学的な部分に焦点を当ててゲームを進めてもらうことはできますか？

A5: はい。理科に限らず、社会科、家庭科などの授業内容にあわせる形でゲームを進めることができます。児童・生徒さんに伝えて欲しい部分、強調して欲しい内容等あればお伝えください。お打ち合わせさせていただきます。

Q6: 場所以外に、準備するものはありますか？

A6: はい。受講者の方は筆記用具をご準備ください。また、プロジェクターとスクリーンがあればご準備ください。ない場合はその旨お伝えください。

※その他、ご不明な点、聞きたい点ございましたらお気軽に事務局までご連絡ください。

受講者の声



「自分たちが食べているものが運ばれてくるのに、CO₂がたくさん出てしまっていることがわかりました。」
(小学校6年生 男子)

「日本がフードマイレージ世界一ということを聞いて、とてもビックリしました。」
(小学校5年生 男子)

「福島県の食料自給率が全国でもかなり高いということを知って、ちょっと嬉しかった。」
(小学校6年生 女子)

「買物をするときは、産地をよく見て、必要なもの以外は買わないよう家族に言いたいし、自分が大人になってもそうしていきたいと思いました。」
(小学校5年生 女子)

「今まで家の畑の手伝いをしたことがなかったけど、これからは手伝いをして、畑でとれた野菜をいっぱい食べたい。」
(小学校5年生 男子)

「家に畑があることを何とも思っていなかったけど、畑で作っている野菜は買物しなくてすむので、畑があつてよかったと思いました。」
(小学校6年生 女子)

「(講師の)先生が使っていたエプロンが、小学生のころ家庭科の授業で自分で作ったエプロンだと聞いてビックリした。大事にしているんだなあと思った。」
(小学校6年生 男子)

「親御さんたちと一緒に授業ができたら、もっと効果があるだろうなあと感じながら拝見していました。子供たちに積極的に接して、ほめてくださっていたことがとても嬉しかったです。」
(小学校教諭)

「楽しみながら学べるという説明に合ったプログラム進行でした。子供たちが青年会議所のメンバーの方々、先生以外の大人と楽しそうにゲームに入り込んでいる様子を見て、とても良かったと思っています。」
(小学校教諭)



現在までの開催実績

平成20年11月26日	白河市立信夫第一小学校	6年生	17名
平成21年 2月26日	棚倉町立高野小学校	5年生	16名
平成21年 3月 9日	矢吹町立中畑小学校	5年生	24名
平成21年 3月16日	下郷町立旭田小学校	6年生	17名
平成21年 4月14日	矢吹町立矢吹小学校	5年1組	26名
平成21年 4月20日	矢吹町立矢吹小学校	5年2組	26名
平成21年 5月24日	白河青年会議所主催 わんぱく自然体験塾1班～5班		30名
平成21年 5月24日	白河青年会議所主催 わんぱく自然体験塾6班～10班		29名
平成21年 6月16日	棚倉町立棚倉小学校	5年3組	28名
平成21年 6月18日	棚倉町立棚倉小学校	5年2組	27名
平成21年 6月23日	棚倉町立棚倉小学校	5年1組	29名
平成21年 7月10日	棚倉町立社川小学校	5年生	27名
平成22年 1月15日	泉崎村立泉崎第二小学校	6年生	27名

平成22年3月5日現在

うつくしま、エコ・オフィス 



社団法人 白河青年会議所

TEL 0248-22-8289

FAX 0248-23-5966

〒961-0908 福島県白河市大手町4-2
ホームページ: <http://jc166.jp>

